

2019年12月24日

AGC、RPAの本格展開を開始 **—2020年に年間10,000時間以上の業務時間削減を目指す—**

AGC（AGC株式会社、本社：東京、社長：島村琢哉）は、2020年1月よりRPA（ロボティック・プロセス・オートメーション）の本格展開を開始します。2020年末までに、年間10,000時間以上の業務時間削減を目指します。

近年企業の競争力を高めるために、デジタル技術を用いた業務プロセスの高効率化が重要になってきており、PC上の定型業務をロボットにより自動化するRPAの活用が注目されています。金融業などでRPAの導入が進む一方、業務が多岐にわたる当社のような素材製造業では共通的な定型業務が少なく、RPAの本格導入、展開が難しいと考えられていました。

AGCは、デジタル技術を活用しビジネスプロセスの変革を担う“スマートAGC推進部”が中心となり、2018年2月より各拠点およびグループ会社に対して、RPAの最新適用事例やその使用方法に関するデモや展示会の実施、各職場の業務に応じたRPA適用の提案を行ってきました。その結果、経理、調達、研究開発などの間接部門を中心に計70台のロボットを導入し、会計システムにおける伝票入力業務や、購買管理システムにおける検収管理業務を自動化すること等により、2019年9月末時点で導入前と比較して、年間4200時間の業務時間削減に成功しました。

今後更なる業務の高効率化に向けて、RPAの展開地域・対象業務を拡大させていきます。展開地域は日本国内の拠点だけでなく、欧州・米州・アジアの各拠点に広げるとともに、対象業務は間接部門を中心とした業務から工場の生産管理部門の業務等へ拡大することで、2020年末までに年間10,000時間以上の業務時間削減を目指します。

AGCグループは、経営方針 **AGC plus**のもと、デジタル技術を活用しビジネスプロセスの変革を行う“スマートAGC”を推進しています。当社は開発プロセス・製造プロセスなど差別化領域において、データサイエンスを用いた業務の高効率化を図ってきました。今後RPAの導入、展開により、入力、集計等の定型作業をはじめとした非差別化領域における業務の高効率化も並行して進めることで、お客様へ新たな付加価値の提供を目指していきます。

以上

◎本件に関するお問い合わせ先：

AGC株式会社 広報・IR部長 玉城 和美

（担当：北野 TEL: 03-3218-5603 E-mail: info-pr@agc.com）

*当社は2018年7月1日に旭硝子株式会社からAGC株式会社へ社名を変更しました。

*個人情報は当社プライバシーポリシーに従ってお取扱いをさせていただきます。